

Saturday, March 10 – Sunday, March 25, 2018

11 AM – 7 PM, closed on Mondays

Free admission

Kyoto City University of Arts Art Gallery @KCUA

238-1 Oshiaburanokoji-cho

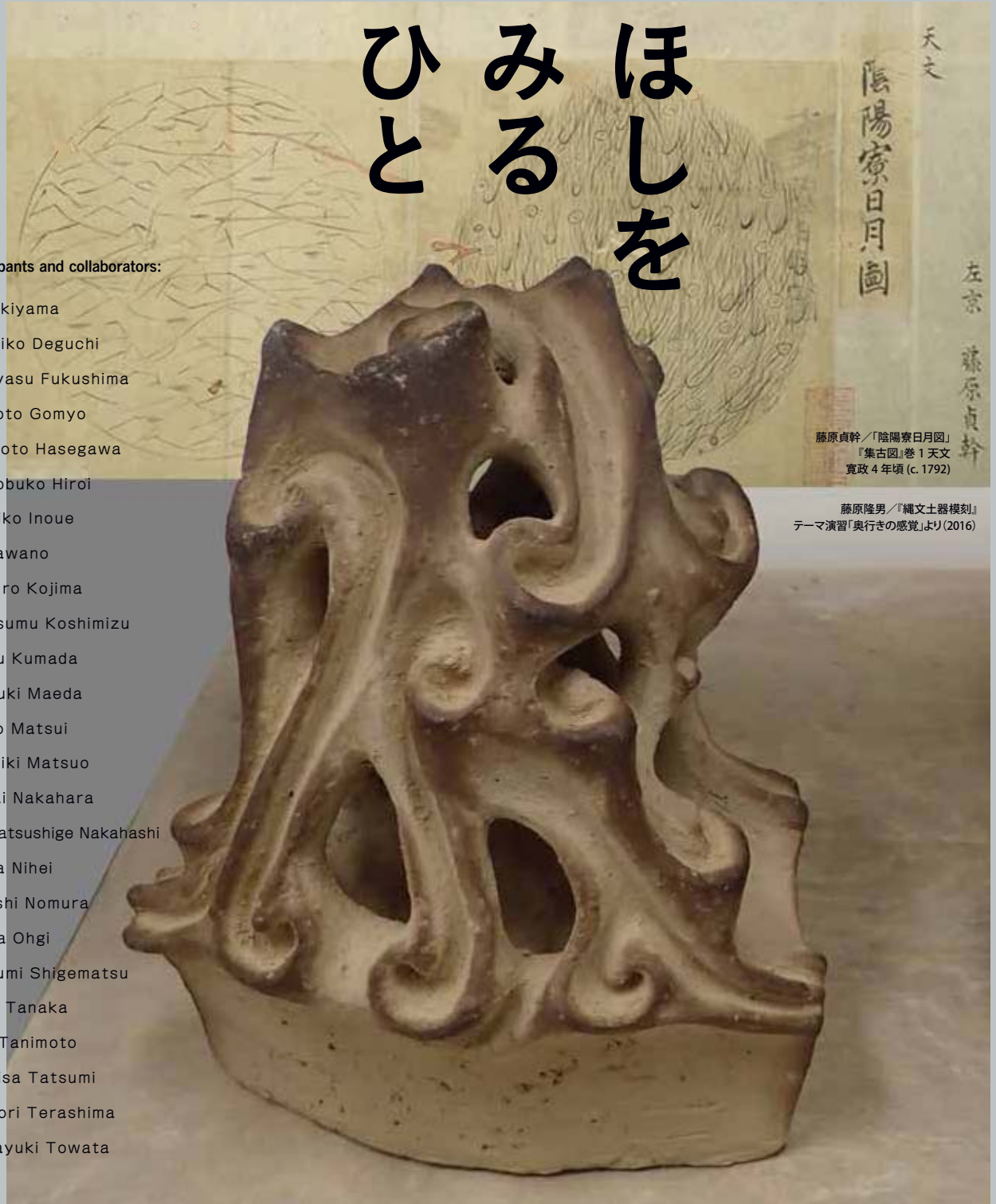
Nakagyo-ku, Kyoto 604-0052

<http://gallery.kcuu.ac.jp/>

2018年3月10日(土)~25日(日)

午前11時~午後7時(月曜休館/入場無料)

ひとみるほしを



藤原貞幹/「陰陽寮日月図」
『集古図』巻1天文
寛政4年頃(c. 1792)

藤原隆男/『縄文土器模刻』
テーマ演習「奥行き感覚」より(2016)

Stargazers: Takao Fujiwara and others

参加協力者 Participants and collaborators:

- 秋山 陽 Yo Akiyama
- 出口義子 Yoshiko Deguchi
- 福嶋敬恭 Noriyasu Fukushima
- 五明 真 Makoto Gomyo
- 長谷川直人 Naoto Hasegawa
- ひろいのぶこ Nobuko Hiroi
- 井上明彦 Akihiko Inoue
- 河野 愛 Ai Kawano
- 小島徳朗 Tokuro Kojima
- 小清水 漸 Susumu Koshimizu
- 熊田悠夢 Yumu Kumada
- 前田菜月 Natsuki Maeda
- 松井紫朗 Shiro Matsui
- 松尾芳樹 Yoshiki Matsuo
- 中原浩大 Kodai Nakahara
- 中ハシ克シゲ Katsushige Nakahashi
- 二瓶 晃 Akira Nihei
- 野村 仁 Hitoshi Nomura
- 扇 千花 Chika Ohgi
- 重松あゆみ Ayumi Shigematsu
- 田中美帆 Miho Tanaka
- 谷本 研 Ken Tanimoto
- 辰巳明久 Akihisa Tatsumi
- 寺島みどり Midori Terashima
- 砥綿正之 Masayuki Towata

藤原隆男 京都市立芸術大学退任記念展

Exhibition commemorating the retirement of KCUA's Astrophysics professor Takao Fujiwara.

京都市立芸術大学美術学部での研究教育、大学内の情報基盤の充実などさまざまな方面で本学を支えた宇宙物理学者・藤原隆男教授の退任を記念し、宇宙へのまなごしの薫陶を受け、研究教育を共にした美術家・教員・卒業生とともに、「ほしをみるひと」として地上の価値の序列にとらわれず、銀河的視野で芸術と芸術教育のあり方を探求する本学美術学部のユニークな一局面を提示します。

主催：京都市立芸術大学 お問合せ：京都市立芸術大学 事務局連携推進課(事業推進担当) Tel 075-334-2204(平日 8:30~17:15) 京都市立芸術大学

会期中、さまざまなレクチャーやイベントを予定しています。最新情報はギャラリー@KCUA ウェブサイトをご参照下さい。 <http://gallery.kcuu.ac.jp/>

▲藤原隆男/天体写真

藤原隆男/「水中での磁性流体球の振動実験」JAXA「文化/人文社会科学利用パイロットミッション」における野村仁・砥綿正之との共同研究から



Takao Fujiwara

藤原隆男 略歴

- 1953年 兵庫県生まれ
- 1983年 京都大学大学院理学研究科博士課程宇宙物理学専攻修了, 理学博士(京都大学)
- 1985年 京都市立芸術大学美術学部講師
- 1991年 同美術学部助教授
- 1994年より学内情報基盤の充実に尽力
- 1995年に本学初代ウェブサイトを開設し約10年間運営に関わる
- 1997~2004年 NASDA/JAXA との共同研究
「宇宙への芸術的アプローチ Artistic Approaches to Space」に参加
- 2004年より同美術学部教授
- 2013年より「奥行き感覚」研究グループに参加
- 2014年より同美術学部長

おもな論文・著書に,

1983年 「Integration of the collisionless Boltzmann equation for spherical stellar systems」(PASJ)

1992年 「宇宙の旅」(共著・福江純ほか, アスキー出版局)

研究報告として,

2007年 「宇宙への芸術的アプローチ 共同研究最終成果報告書」
(共著・福嶋敬恭ほか, 宇宙航空研究開発機構) などがある

ほしを みる ひと

藤原隆男のつぶやきより

「芸大生に、いろんな分野の人がいる総合大学のおもしろさを知ってもらいたくて、

ミニ総合大学をめざしてきました」

「芸大には、ふつうの大学にはなってもらいたくないけど、大学—ユニバーシティにはならないと…」

「芸大生には自然を目で理解する人が多いので、ビジュアルに見せようとするうちに、

こちらも自然をビジュアルに考えるようになっていました」

「数学を言語としない人にリアルに自然法則を理解してもらうにはどうすればいいのか、

芸大ですつと訓練してきたような気がします」

「実技入試を経ずに芸大にきたので学生や実技の先生に対して引け目があったんですが、

奥行きテーマ演習で学生といっしょに制作をするうちに、引け目を感じなくなりました」

「でも退任記念展はやり過ぎのような気が…」

「展覧会の開催は、ひとえに協力してくださったみなさんのおかげです」



上：藤原貞幹／『集古図』巻1天文 寛政4年頃 (c. 1792)

中：藤原隆男／「水の球を用いた造形実験」の解説のためのCG画像, JAXA「文化/人文社会科学利用パイロットミッション」における藤原隆男・野村仁・砥綿正之の共同研究から(2008)

下：「星を見るひとウルグ・ベク」(細密画、ウズベキスタン) ひろいのぶこ蔵